

船舶電気関係記事年表(昭和35～39年)  
(雑誌「船舶」、「船の科学」より)

西暦(和暦)	電気関係 論文・解説記事など	著 者	備 考
1960-1 「船舶」 VOL.33 NO.1 (昭和35年1月)	・船舶とオートメーション(7)	船舶自動制御研究会	航海のオートメーション／機関のオートメーション
1960-2 「船舶」 VOL.33 NO.2 (昭和35年2月)	・船舶機関の自動化についての討論会 ・船舶電気界におけるSKシリーズ(Ⅱ) 最近の船舶での機関電気推進並列法 ・船舶とオートメーション(8)	船舶機関輪講会 柴田福夫 (川崎重工業) 船舶自動制御研究会	貨物輸送 船舶用自動制御装置
1960-3 「船舶」 VOL.33 NO.3 (昭和35年3月)	・船舶電気界におけるSKシリーズ(Ⅲ) 電気推進や電気ウインチに利用されるクレーマ やシェルピウス方式の変形 ・船舶とオートメーション(9)	柴田福夫 (川崎重工業) 船舶自動制御研究会	無線遠隔測定／操縦
1960-4 「船舶」 VOL.33 NO.4 (昭和35年4月)	・船用電気機器の展望(1) ・最近の船用自励交流発電機の問題について ・ポールチェンジ式ウインチについて ・商船船内短絡電流計算に関する諸問題(1) ・船用防爆天井灯について ・船舶における水銀荷役灯について ・船舶とオートメーション(10)	徳永 勇 (三菱日 本重工 横浜) 甲斐 高 (三菱電機 長崎) 子安英次 (富士電機) 船内短絡電流委員 会 (中山昌康) 木下直春 (森尾電機) 高原 正 (日立造船) 船舶自動制御研究会	保安上の諸問題について
1960-5 「船舶」 VOL.33 NO.5 (昭和35年5月)	・商船船内短絡電流計算の関する諸問題(下) ・船用電気機器の展望(2) ・船舶とオートメーション(11)	中山昌康 (石川島) 徳永 勇 (三菱日 本重工 横浜) 船舶自動制御研究会	自動化船構想
1960-6 「船舶」 VOL.33 NO.6 (昭和35年6月)	・川崎ミゼット・ヒューズとSKAヒューズについて ・船用電気機器の展望(3) ・船舶とオートメーション(12)	太田英憲 (川崎電機) 徳永 勇 (三菱日 本重工 横浜) 船舶自動制御研究会	自動化船構想
1960-7 「船舶」 VOL.33 NO.7 (昭和35年7月)	・船用電気機器の展望(4)	徳永 勇 (三菱日 本重工 横浜)	無線関係
1960-7 「船舶」 VOL.33 NO.7 (昭和35年7月)	・船用電気機器の展望(5)	徳永 勇 (三菱日 本重工 横浜)	無線関係
1960-7 「船の科学」 VOL.13 NO.7 (昭和35年7月)	・カナダ海軍における船体の電気防食	瀬尾正雄 (運輸技術研究所)	
1960-9 「船舶」 VOL.33 NO.9 (昭和35年9月)	・船用防水防爆隔壁灯について	木下直春 (森尾電機)	
1960-9 「船の科学」 VOL.13 NO.9 (昭和35年9月)	・小型貨物船の甲板補機の電化計画および三井電 動甲板補機、自励交流発電機	波多野伸彦 (三井造船) 月岡静樹 (波止浜造船)	波止浜造船 第1番船 第12秀栄丸 DW 700t の例
1960-11「船の科学」 VOL.13 NO.11 (昭和35年11月)	・超短波のドップラー効果を利用した船舶速度計画 装置について	川崎重工	
1961-3 「船舶」 VOL.34 NO.3 (昭和36年3月)	・電子計数方式トランジスタ・ロラン受信機について	箕原喜代美 田島順次 (古野電気)	
1961-3 「船の科学」 VOL.14 NO.3 (昭和36年3月)	・電気式船用ディーゼル機関遠隔操縦装置	笠原祐治 (新潟鉄工)	
1961-4 「船舶」 VOL.34 NO.4 (昭和36年4月)	・英米における船舶の自動化	浜田 昇 (船舶局)	
1961-7 「船舶」 VOL.34 NO.7 (昭和36年7月)	・LPG船の電気設備について ・船用交流かご形電動ウインチの電動機定格と 温度試験法の考え方 ・ダイレクト・ウインチ(直接制御式船用かご形交流 電動ウインチ) ・船用耐圧防爆型携帯電灯について	稲井新七 (石川島播磨) 和田義勝 (三菱電機 長崎) 岩井鏝 (神鋼電機) 山中薫雄 (伊東電機)	

1961-7 「船の科学」 VOL.14 NO.7 (昭和36年7月)	・音響測深機について	西村一郎 (海上電機)	
1961-9 「船舶」 VOL.34 NO.9 (昭和36年9月)	・ソーナーについて	鶴ヶ谷武雄 (日本電気)	
1961-10 「船舶」 VOL.34 NO.10 (昭和36年10月)	・直流2KWキセノンランプ式艦船用60纏信号探照灯	勝倉喜一郎 (株)湘南工作所)	
1961-11 「船の科学」 VOL.14 NO.11 (昭和36年11月)	・伊藤式ディーゼル機関遠隔操縦装置について	松井武夫、伊藤 寛 (伊藤鉄工所)	
1962-1 「船舶」 VOL.35 NO.1 (昭和37年1月)	・三井船舶 金華山丸の概要 ー 機関部自動化のことなど ・誘導電動機の新速度決定法	内田 勇 (三井船舶) 糸井宇生 (川崎重工業)	シェルビウス法、クレーマ法など
1962-1 「船の科学」 VOL.15 NO.1 (昭和37年1月)	・自動制御装置を施した金華山丸について ・大型商船用主機遠隔操縦装置 初航海 ・英豪華客船キャンペラ号の最新鋭レーダ装置	三井造船 玉野 (株)東京計器	金華山丸の主機リモコンの紹介記事
1962-2 「船舶」 VOL.35 NO.2 (昭和37年2月)	・船用電動ウズ巻きポンプの標準仕様書の制定について	野村信義 (日本造船関連工業会)	
1962-3 「船の科学」 VOL.15 NO.3 (昭和37年3月)	・自動化を採用したソ連タンカー LUGANSK	三菱造船 広島	
1962-4 「船舶」 VOL.35 NO.4 (昭和37年4月)	・船用ディーゼル機関の遠隔制御	東京計器	
1962-4 「船の科学」 VOL.15 NO.4 (昭和37年4月)	・金華山丸、十勝山丸の実績より見た燃料油系統の自動化について	岡 義則 (三菱化工機)	
1962-6 「船舶」 VOL.35 NO.6 (昭和37年6月)	・チューブラハンガーによるケーブル布設法の紹介 ・電動自動ムアリング・ウインチ ・ドレヅジャーの電気設備 ・船用自励交流発電機の自動同期化装置 ・船舶用水晶制御親子時計について	河井五夫 (新三菱重工神戸) 和田義勝 (三菱電機 長崎) 川田皓造 (石川島播磨) 中田隆康 (富士電機 川崎) 依田 進、齊藤富男 (東洋通信)	
1962-6 「船の科学」 VOL.15 NO.6 (昭和37年6月)	・金華山丸の処女航海における自動制御装置の運用実績について ・船舶用特殊頂冠付空中線の開発	佐藤幸雄 (三井造船 玉野) 名古屋造船	
1962-7 「船の科学」 VOL.15 NO.7 (昭和37年7月)	・船用電線の変遷	大貫 勉、高橋安民 (日立電線)	
1962-8 「船舶」 VOL.35 NO.8 (昭和37年8月)	・自動航法(その1) 自動航法の展望 1. 自動航法と電波技術 2. 自動航法と推測航法	庄司和民 (東京商船大学) 鈴木 務 (電機通信大) 阿部典視 (東京計器)	
1962-8 「船の科学」 VOL.15 NO.8 (昭和37年8月)	・[新製品紹介] 東京計器のレスコ・ジャイロ・パイロット ・[グラビア写真] 大同海運の17次貨物船りっちもんど丸の自動化		
1962-9 「船舶」 VOL.35 NO.9 (昭和37年9月)	・金華山丸と電気温度計 ・自動航法(その2) 3. 自動航法における航路測定装置の一例 4. 自動航法における電波六分儀の使用 5. 自動航法と Roller Map Equipment	三好和彦 (三井船舶) 庄司和民 (東京商船大) 飯島幸人 (東京商船大) 川本文彦	電気温度計の実用テスト結果  電波天文学、 Radio Star, Radio Star Chart
1962-9 「船の科学」 VOL.15 NO.9 (昭和37年9月)	・漁船の諸装置の自動化と遠隔操作について ・佐渡春丸・山利丸の自動化・合理化の概要	工藤宗市 (水産庁漁船課) 日立造船	自動操舵、主機リモコン、冷凍装置 漁労装置の自動化

1962-10「船舶」 VOL.35 NO.10 (昭和37年10月)	・新しい航海計器の登場した頃－昭和初期の回想 ・自動航法(その3) 6. デッカ自動航法装置	山高五郎 鈴木 裕 (東京水産大)	ジャイロ・コンパス、音測、方探など
1962-10「船の科学」 VOL.15 NO.10 (昭和37年10月)	[世界最大タンカー日章丸の特集]より ・日章丸搭載発電機の概要	富士電機	
1962-11「船の科学」 VOL.15 NO.11 (昭和37年11月)	・山利丸の自動化・合理化について ・漁船用北辰オート・パイロットPF-1について ・船舶用としての電気厨房機器	宮崎敬一、原田享明 柚木茂登(山下汽船) 北辰電機 白水基裕 (京都電機)	
1962-12「船舶」 VOL.35 NO.12 (昭和37年12月)	・交流レオナード方式電気推進装置について	澤田 進 (川崎電機)	
1962-12「船の科学」 VOL.15 NO.12 (昭和37年12月)	・三井船舶 自動化第2船春日山丸について	三井船舶 三井造船	
1963-1「船の科学」 VOL.16 NO.1 (昭和38年1月)	・自動化を採用した油槽船 弘栄丸について	石川島播磨重工	
1963-2「船の科学」 VOL.16 NO.2 (昭和38年2月)	・世界最初の自動化タービン・タンカー大阪商船 おりおん丸 ・自動化タンカーおりおん丸の船内写真 ・三菱造船で高経済船の完全自動化モデルの 操舵室を公開	三菱造船 長崎	
1963-3「船の科学」 VOL.16 NO.3 (昭和38年3月)	・わが国最高の自動化油槽船 高峰山丸について ・タービン・タンカー自動化第1船おりおん丸について	内田 勇、折戸博允 (三井船舶) 新三菱重工 神戸	
1963-4「船舶」 VOL.36 NO.4 (昭和38年4月)	・タンカー荷役作業の完全自動化装置	石川島播磨重工 東芝	
1963-4「船の科学」 VOL.16 NO.4 (昭和38年4月)	・船舶用としての燃料電池について ・高経済性船舶(自動化定期船)試設計の概要	牧野三郎 (日本電池) 運輸省船舶局	
1963-5「船の科学」 VOL.16 NO.5 (昭和38年5月)	・タンカー荷役作業の完全自動化装置	石川島播磨重工 東芝	
1963-6「船の科学」 VOL.16 NO.6 (昭和38年6月)	・自動化大型タービン・タンカー 太和丸について	三菱造船 長崎	
1963-7「船舶」 VOL.36 NO.7 (昭和38年7月)	・最近の船舶電気機装における二、三の問題点 ・船用データ処理装置(1) ・"HI-CUT"ヒューズ(EL型限流ヒューズ) ・エンジン・モニター ・主機遠隔操縦装置について	柴田福夫、金尾勝人 糸井宇生 (川崎重工業) 寺本俊二 (北辰電機) 中野 博 力石昭二 (東京計器) 布谷計器製作所	(A)発電新方式に関するもの (B)電動機制御に関するもの (C)発電機、電動機並列運転 (D)電子機器の環境条件 監視/データロガー  走査監視方式のモニター
1963-7「船の科学」 VOL.16 NO.7 (昭和38年7月)	・IBAK社船舶用TV監視装置 (インパックス・ケミカルス)		製品紹介
1963-8「船の科学」 VOL.16 NO.8 (昭和38年8月)	・電子ケガキ(E. P. M)装置 ・輸出タンカーに世界初完全自動化"RALPH O. RHOADES"	沓木幹雄、金山正明 (新三菱重工 神戸) 川崎重工業	
1963-9「船舶」 VOL.36 NO.9 (昭和38年9月)	・護衛艦電気装置の最近の傾向について(1) ・船用データ処理装置(2)	辻 順三 {防衛庁} 寺本俊二 (北辰電機)	発電機、電源装置の分散、 配電系統、400 C/S系 など DA変換、AD変換 など
1963-9「船の科学」 VOL.16 NO.9 (昭和38年9月)	・自動化船の操舵室についての一考察 ・ソ連向け35,000DWTディーゼル油槽船に採用 の主ターボ発電装置について	石井 鴻 (三菱造船 長崎) 三菱造船 広島	

1963-10「船舶」 VOL.36 NO.10 (昭和38年10月)	・護衛艦電気装置の最近の傾向について(2)	辻 順三 (防衛庁)	供電系統、照明、電話、センサー 電線
1963-11「船舶」 VOL.36 NO.11	・旅客船“ぐれいす”の遠隔操縦装置について ・船用データ処理装置(3)	百合草正韶(特定船舶整備公団) 寺本俊二 (北辰電機)	センサー類、リレー式とTr式の比較
1963-11「船の科学」 VOL.16 NO.11 (昭和38年11月)	・多基1軸機関による機関室無人運転と監視用 工用テレビ装置	三菱日本重工 横浜	グラビア写真
1963-12「船の科学」 VOL.16 NO.12 (昭和38年12月)	・光電製作所 わが国初めての警報機付 簡易測深機発売	光電製作所	製品紹介
1964-2「船の科学」 VOL.17 NO.2 (昭和39年2月)	・自動化定期貨物船 みししつび丸について ・機関室の無人運転を行える第五十五希望丸につ いて ・自動化第五十五希望丸主機関の操縦方式につ いて ・[技術短信] 浦賀重工建造最大のタンカーにディー ゼル主機の排気利用ターボ発電機搭載	川重 造船設計部  来島船渠 技術部設計課 池貝鉄工技術部 黒滝哲成、吉川文夫 本誌編集部	
1964-3「船の科学」 VOL.17 NO.3 (昭和39年3月)	・[技術短信] 三菱造船ディーゼル主機排ガス利用 の主ターボ発電装置第1号完成	本誌編集部	
1964-4「船舶」 VOL.37 NO.4 (昭和39年4月)	・人工衛星と航海 (I)航海衛星早わかり  (II)人工衛星による航海  (III)トランシット航海衛星方式について	岡本正彦  巻島 勉  庄司和民 (東京商船大)	
1964-5「船の科学」 VOL.17 NO.5 (昭和39年5月)	・IHI-東芝式タンカー完全自動荷役装置 ・京電の低圧電気レンジと厨房の電化	IHI, 東芝  京都電機 白水基裕	
1964-6「船の科学」 VOL.17 NO.6 (昭和39年6月)	・電気推進式遠洋底曳網兼船尾トロール漁船 第五十一 三吉丸	新潟鉄工所 造船事業部	
1964-7「船舶」 VOL.37 NO.7 (昭和39年7月)	・船舶電気界の推移 ・さんちやご丸ディーゼル主機関のワンモーション・ コントロールについて ・さんちやご丸のエンジン・データ・ロガー ・富士電動式自動係船機について	徳永 勇(幾徳工 業高等専門学校) 三菱重工業 神戸 原動機設計 三菱重工業 神戸 造船設計部 富士電機	電気設備の変遷について  データ・ロガーの仕様、 計測点について
1964-8「船舶」 VOL.37 NO.8 (昭和39年8月)	・漁業無線界の概況 ・[人工衛星と航海 IV] 航海衛星トランシットとその船上用装置について	井上忠之 (水産庁) 木村小一 (船舶技術研究所)	漁船の無線設備について
1964-8「船の科学」 VOL.17 NO.8 (昭和39年8月)	・油槽船自動荷役装置オート・カーゴ (AUT-O-CARGO) ・ESSO PHILIPPINES の自動化、合理化	日本鋼管  三井造船	
1964-9「船舶」 VOL.37 NO.9 (昭和39年9月)	・[人工衛星と航海 V] 航海衛星に関するレーザの応用	貞田睦生 (日本電気)	
1964-12「船舶」 VOL.37 NO.12 (昭和39年12月)	・[人工衛星と航海 VI] 民間航海衛星の計画と提案	「船舶」編集室	
1964-12「船の科学」 VOL.17 NO.12 (昭和39年12月)	・AEG式外部電源法による船体防食装置	大倉商事 電気機械部	

**[メモ]**

- 船舶の自動化についての記事が増えている。  
山下汽船 佐渡春丸、山利丸、三井船舶 金華山丸、春日丸、高峰山丸、大阪商船 おりおん丸 など
- 交流電動ウィンチについての記事が多くみられる。
- 航法の自動化についての解説が多い。
- タンカーの自動荷役装置の開発がなされた。
- 発電機制御、電動機制御についての考察記事が多くみられる。
- 船用データ・ロガーの開発についての記事がみられる。
- 人工衛星の利用についての記事が出てきた。
- 電線が増えてきたことに対応し、チューブラー・ハンガーのような電線布設工法が開発された。